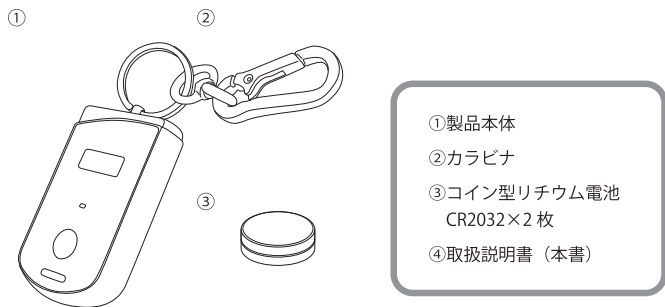


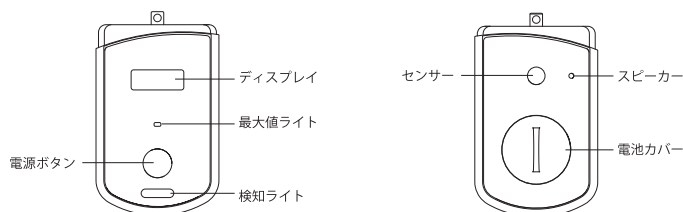
商品の説明

梱包内容

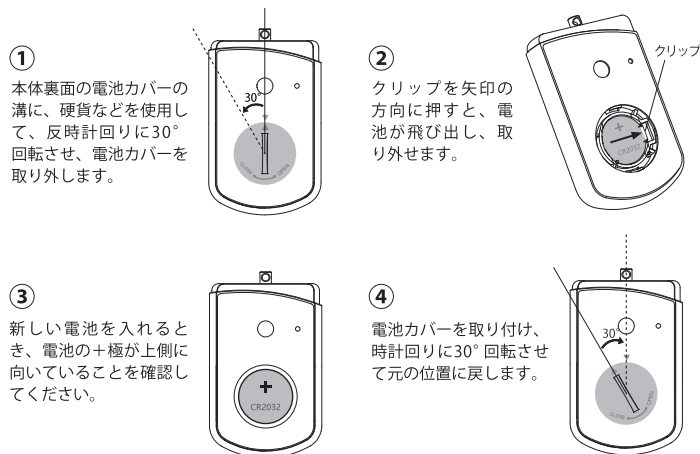


- 工場出荷の段階で表面、裏面ともに保護フィルムが貼ってあります。剥がしてから使用してください。
- 付属の電池はテスト動作のため、使用前に必ず新品に交換してください。

各部の名称



電池の入れ方



△で注意!

電池カバーを開ける際は、本体に傷が付くのをさけるため、硬貨と電池カバーの間に布またはティッシュを挟んでください。



お手入れ

- 【本体】
- ▶乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ▶水洗いや分解はしないでください。
- ▶シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ▶廃棄の際は各地方自治体の指示に従ってください。

使用方法

本体裏側のセンサー部分、および本体の周囲に物を置かないでください。
本体を起動する際は、必ず綺麗な空気中で行ってください。

電源ボタンの操作方法

- ①電源ボタンを長押し(3秒間)して、本体を起動させます。また長押しでOFFになります。
起動時はディスプレイに「CAL」が表示され、3分ほどかかります。
この時は電源ボタンの長押しでもOFFになりません。
- ②3分経過すると再度起動音が鳴り、液晶画面に数字が表示されます。空気中の一酸化炭素濃度を自動で測定します。
- ③電源ボタンを短く押すと、最大値ライトが光り、起動後から現在までの最大一酸化炭素濃度が表示されます。電源をOFFにすると、記録は消去されます。

光と音で三段階のアラーム警告

- ディスプレイ
バッテリー残量と一酸化炭素濃度が表示されます。
- アラーム
一酸化炭素濃度が基準値を超え5分以上検知し続けると、光と音で警告します。警告のレベルは、空気中の一酸化炭素濃度によって変わります。

一酸化炭素濃度	警告
0 - 199 ppm	警告レベル0 ●一酸化炭素濃度が表示されます
200-299 ppm	警告レベル1 ●一酸化炭素濃度が表示されます ●検知ライトが点滅します
300-399 ppm	警告レベル2 ●一酸化炭素濃度が表示されます ●検知ライトが点滅します ●アラームが鳴ります
400ppm以上	警告レベル3 ●一酸化炭素濃度が表示されます ●検知ライトが速く点滅します ●アラームが連続して鳴ります

- 高温アラーム
温度が50℃を超えると、「—」が表示され、温度が下がるまで動作しません。
 - 電池残量アラーム
電池残量が少なくなると、一度ブザーが鳴り、30秒ごとに警告します。
- ※一酸化炭素中毒の症状は人によって異なります。200ppm以下であっても定期的に換気を行ってください。

正しい数値を検知するために

- 長時間電池を抜いた状態が続くと、センサーが正しく起動しない場合があります。綺麗な空気中でも数値が0にならない、または戻らない場合があります。
→電池を一度抜いてから再度起動をしてください。

空気中的一酸化炭素濃度と中毒症状

一酸化炭素濃度	主な症状
24ppm	64時間後にめまいを起こす
50ppm	32時間後にめまいを起こす
100ppm	16時間後にめまいを起こす
200ppm	2～3時間後、軽い頭痛、倦怠感、めまい、吐き気
400ppm	1～2時間で頭痛、3時間で命にかかわる
800ppm	45分以内にめまい、吐き気、けいれん 2時間以内に意識消失 2～3時間以内に死亡

注意：上記の中毒症状は健康な成人を対象としています。健康リスクが高い方、または妊娠中の女性の症状は全く異なります。